

伊達市地域おこし協力隊



あなたの「やりたい」がきっとある
「伊達」で挑む日々



福島県伊達市

穏やかだけどチャレンジ精神を忘れない人を探し求めています



すぐそばに自然があるし、仕事場に続く坂道もどこのどか。かっちり管理されていない情景が日常の中にある「ほどよい田舎」での仕事。こういう働き方をお伝えすると「バリバリ働かずにのんびりできるね」と言われがちですが、決して私たちはぬるま湯に浸かるような環境を提案しているわけではありません。伊達市の地域おこしには、心に秘めたアツい思いが不可欠。

自然を身近に感じながら心豊かに仕事をするのと仲間と夢中で働き夢を追うことの両方がここにはあって、双方が原動力になっています。

穏やかさとチャレンジ精神を持ち合わせた人とぜひ出会いたいと私たちは思っています。



豊かな実りと
生きる彩りを

地域おこし協力隊とは？

都市地域から市内に転入し、
概ね3年間の任期の中で地域協力活動を行います。

活動を通じて、地域活力の維持・強化を図り、
隊員が市内に定住・定着することを目標としています。



地域おこし協力隊制度のしくみ

「特別交付税」とは？

地方の財源不均衡を調整や
特別な需要への調整を目的とする
国が地方に代わって徴収する地方税であり、
国から地方へ財政措置として配分される

ポイント!!
地方公共団体の**固有財源**であり、
用途は**地方公共団体**が決定する
そのため、協力隊制度は**自治体により様々**

国(総務省)

特別交付税

特別交付税として申請できる経費

➡ 最大550万円/隊員1人
(内訳) 給与: 上限350万円
その他の経費: 上限200万円

地方公共団体(伊達市)

地域おこし協力隊制度を構築・実施

地域おこし協力隊を委嘱
活動費の予算化

受入先

団体委託
or
個人委託

・伊達市振興公社
・市内受け入れ農家(生産部会)
・プレイスメイキングふくしま伊達
など

地域おこし協力隊

ポイント!!

× 地域おこし協力隊の予算 = 550万円
○ 地域おこし協力隊の予算 = 市が予算化した金額

ポイント!!

× 活動に使えるお金 = 200万円
○ 活動に使えるお金 = 200万円 - (保険料 + 通勤手当 + 家賃補助等)

地域協力活動を実施



なぜ、協力隊を導入するのか？

伊達市が地域おこし協力隊を募集する目的は、

- ①伊達市総合計画に掲げる地域課題の解決と
- ②市外人材の定住・定着による人口の増加です。

平成22年度に協力隊を初めて導入して以来、地域の課題ごとに協力隊を募集し、地域課題の解決に向けて、28名以上の隊員が活躍してきました。

伊達市が地域おこし協力隊を募集する目的

地域おこし協力隊



採用条件

地域協力活動

移住

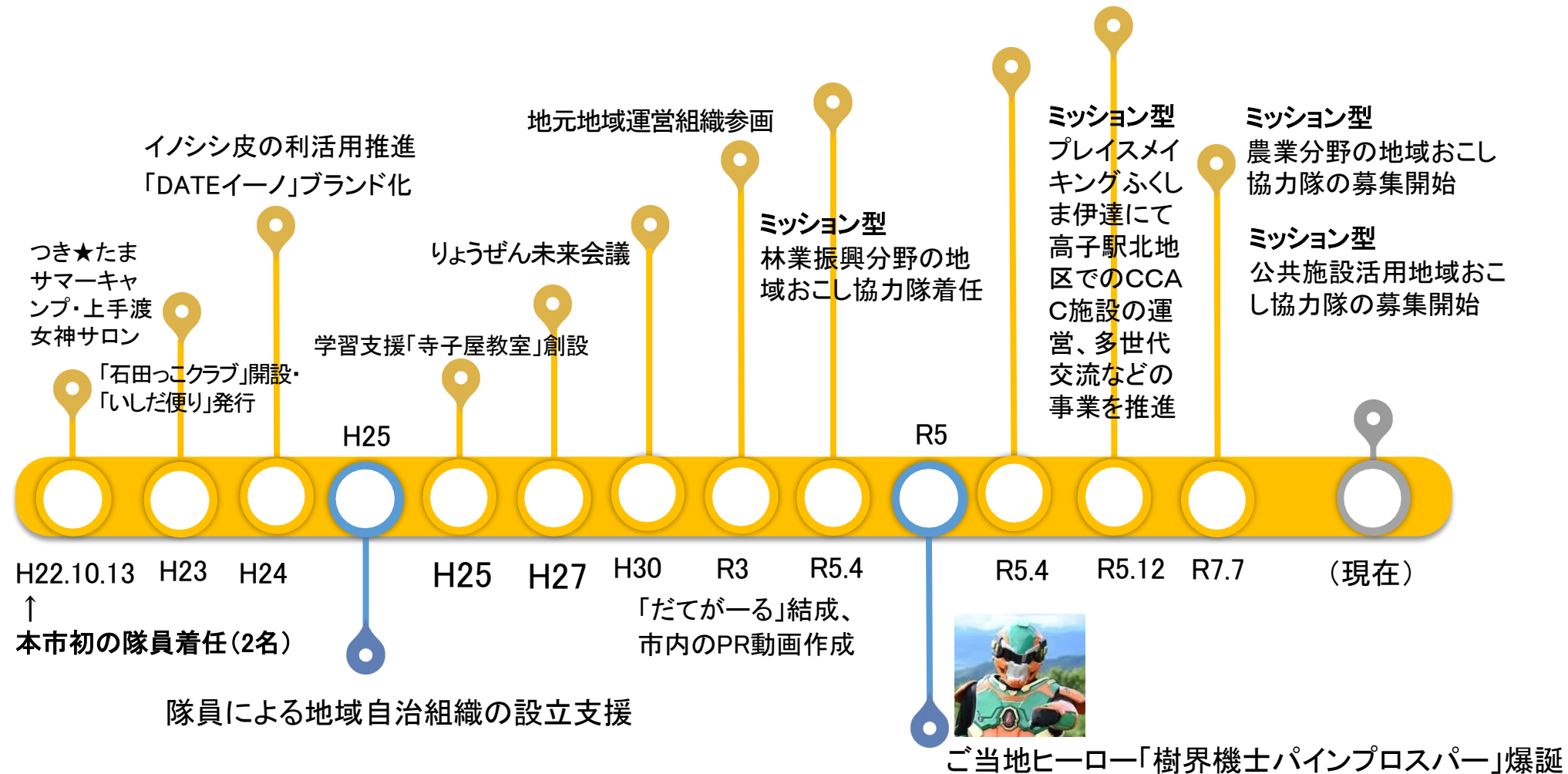
地域課題（総合計画等）
伊達市地域創生戦略

人口減少・空き家問題

地域課題
の解決

定住による
人口増

これまでの地域おこし協力隊の取り組み



伊達市は福島県で初めて地域おこし協力隊を導入した実績のある市です

伊達市
地域おこし協力隊が目指
すもの
それは、
地域と協力隊が
共に幸せになること。

地域おこし協力隊 にとっても 生き甲斐 を探すきっかけとなる
一方で、隊員の地域貢献活動を通して、地域 にとってもメリット
があるような関係性を目指しています。



伊達市地域おこし協力隊が目指すもの ➤ 三方良しの関係



協力隊

- 自身の才能・能力を活かした活動
- 理想とする暮らしや生き甲斐発見



地域

- 新たな視点、熱意による地域への貢献
- 新規事業（法人、飲食店等）の可能性



伊達市

- 行政ではできなかった柔軟な地域おこし
- 住民が増えることによる地域の活性化



（地域おこし協力隊希望者の皆様へ） 隊員への支援について

協力隊の方々が伊達市での暮らしを楽しんでもらえるように市としても、様々な支援を実施しています。

助成制度のほか、地域の協力団体と連携し、協力隊が活動しやすい環境を整えています。

OB・OGによるサポート体制も充実させ、地域住民の方々や現役隊員間の交流も行っています。

伊達市地域おこし協力隊への主な支援制度

01 住宅費用助成金

- ・住宅賃借料月額5万円を上限に助成
- ・引越経費は市の規定により別途助成
- ・敷金・礼金等も一部助成

02 自己研さん費(調査研究費)助成

- ・年間30万円(月25,000円)を上限に助成

03 活動経費助成

- ・個人型業務委託の場合は、活動に必要な車両リース料や必要道具の燃料代等を助成(125,000円/月)

04 起業支援補助金

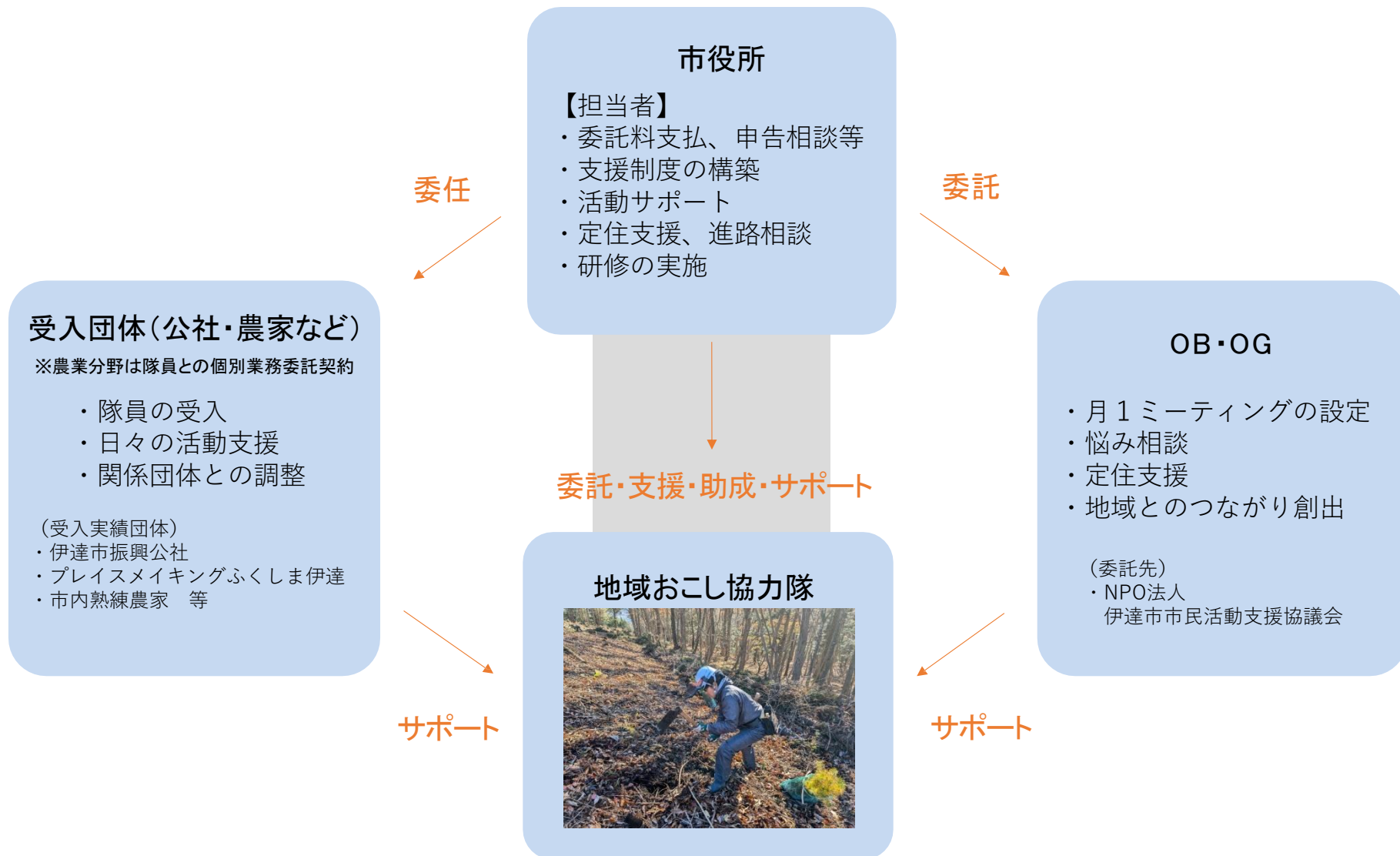
- ・起業に要する費用を1人あたり最大100万円を補助



05 地域おこし協力隊OB・OGによるサポート体制

- ・伊達市市民活動支援協議会(伊達市地域おこし協力隊OG)にサポート業務を委託し、月例ミーティングの実施や日々のさまざまな悩みに対応。
- 月例ミーティングでは、隊員のスキルアップを目的とした研修のほか、隊員・OB/OG間で情報共有や日々の悩み、活動に関する相談などをする貴重な機会になっています。

伊達市地域おこし協力隊の体制について

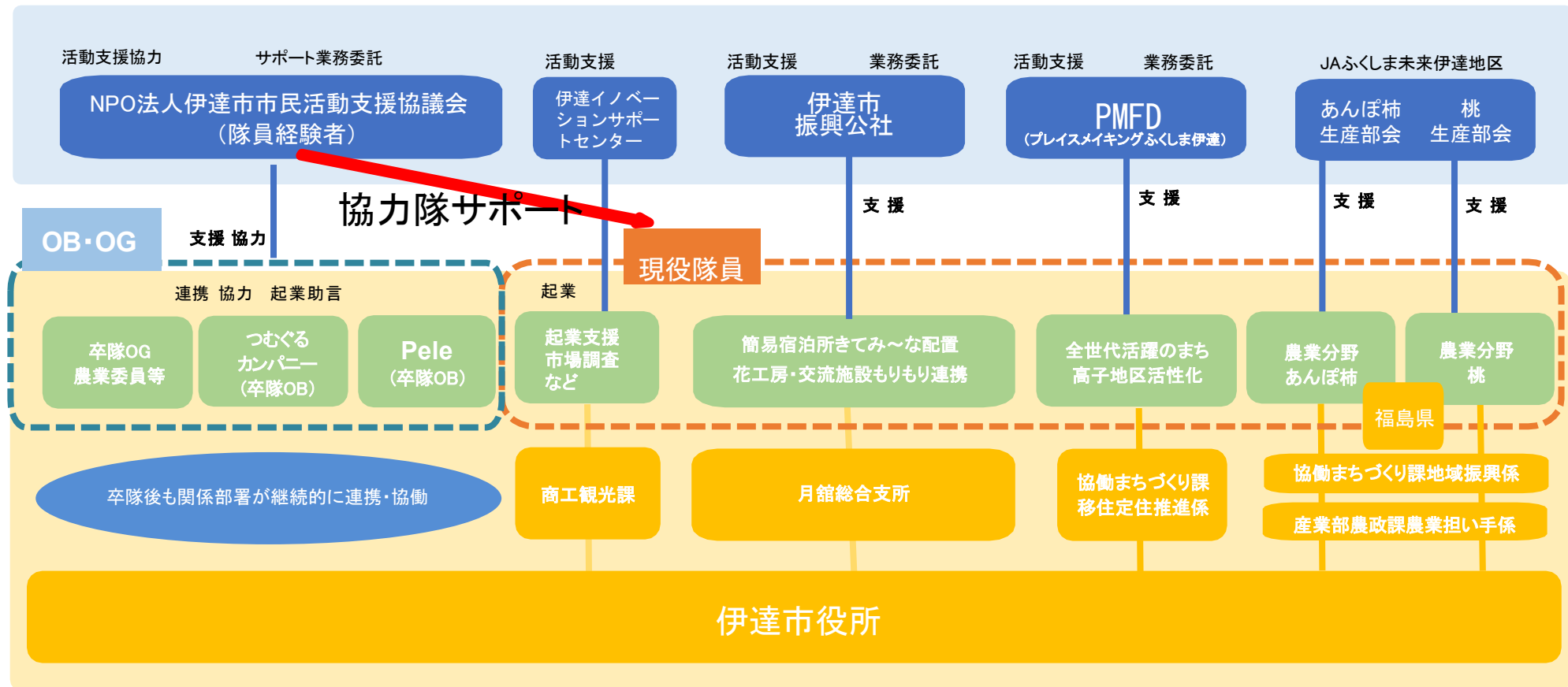


伊達市地域おこし協力隊の体制について

伊達市

地域おこし
協力隊

協力団体



(地域おこし協力隊希望者の皆様へ)

伊達市を 新たな**挑戦**の場として 選んでほしい

「農業をやりたい！」

「地域おこしをしたい！」

「自分のスキルを活かして地域活性化に携わりたい！」

「地方での暮らしを楽しみたい！」

そんな思いを持った方々が伊達市に移住し、地域おこし協力隊として自分の目標に向かって活動しています。



伊達市地域おこし協力隊の任期中～任期後のイメージ

新たな価値・理想の暮らし



- 桃・あんぽ柿農家として新規就農
- 受け入れ団体への就職
- 地域貢献等、新たな価値を生み出す起業へ



地域課題
(ビジネスチャンス)

農業後継者の不足(特に果樹)
伝統産業の継承
地域の活性化
空き家、人口減少問題
市内事業者の廃業・後継者不足
シティプロモーション

マッチング

&

3年間の協力隊活動

地域おこし協力隊
(やりがい・いきがい)

農業に関わりたい！
伝統産業に興味がある
関係人口を巻き込んだ事業をやりたい
地域資源を活用して活性化に取り組みたい
起業に向けてスキルを磨きたい
デザイン・WEBスキルを活用したい



(地域おこし協力隊希望者の皆様へ)
伊達市での暮らしを
心から楽しんでほしい

地域おこし協力隊の方々にとって、
見ず知らずの土地で生活をしていくというのは
はじめは大変なことだと思います。

ですが、伊達市での暮らしを
最大限楽しんでもらえるように
市としても、全力でバックアップいたします。

また定住を目指す協力隊にとって、
同じ志を持った現役隊員やOB・OGも心強い仲間です。

現役隊員、OB・OG、市役所職員一同
伊達市地域おこし協力隊として仲間になってくれる方を

心よりお待ちしております

伊達市地域おこし協力隊活動報告会について

協力隊の活動をみんなに知ってもらえる場があります



伊達市では、地域おこし協力隊が1年間の活動を振り返り、地域の皆さんや関係者、市の職員に発表する「活動報告会」を毎年開催しています。

これまでの成果や取り組みを多くの人に知ってもらえる貴重な機会です。

協力隊として関わったプロジェクトや地域での活動を、自分の言葉で発表し、地域の方々に直接伝えられる場があるのは大きな魅力！自分の活動が地域とどのようにつながったのかを実感できる瞬間です。





「暮らす」からこそ
見えてくること。

活動の様子や募集情報はこちらから

伊達市 地域おこし協力隊

令和8年1月発行

伊達市
未来政策部 協働まちづくり課

〒960-0692
福島県伊達市保原町字舟橋180
TEL 024-575-1177
kyodou@city.fukushima-date.lg.jp

